

2 熊本博物館の紹介【博物館のあゆみ（沿革）】

熊本博物館が自然系・人文系資料を有する郷土の博物館として設立されたのは昭和 27(1952)年のこと。その後、いくつかの変遷を経て、昭和 53(1978)年、現在地に本館が新築移転しました。

昭和から平成へと時代が移り、本館移転後 40 年近くが経過する頃には、博物館への新たなニーズや進歩する展示・保存技術に対応するため「リニューアル」に向けた準備が本格化し、平成 27(2015)年 10 月からは大規模改修工事に着手しました。「平成 28 年熊本地震」の影響等で一時期は工事を中断せざるを得ませんでしたが、関係者をはじめ多くの方のご支援とご協力によって、平成 30(2018)年 12 月、ようやくリニューアルオープンを果たしました。

熊本博物館の基本理念は「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」で、県域に広がる多彩なフィールドの紹介、調査・研究の成果を市民に還元する取組、郷土熊本の多様で豊かな資源の活用、時代や市民の皆さま方の要請・要望への適切な対応等を重視してきました。

今回のリニューアルでは、それらの基本理念を継承しつつ現代的な視点で整理・再構築し、政令指定都市にふさわしい「より魅力的な博物館」として親しんでいただけるよう展示内容・展示方法等を一新しています。

時代はさらに平成から令和へ。リニューアルオープン以来、早いもので 3 年以上が経過しました。その間、コロナ禍の試練も経験する（している）のですが、その時の対応や工夫・改善策は博物館の事業運営にとって大きな糧にもなっています。ピンチがチャンスに変化しているのです。

そんな熊本博物館の今の姿を多くの皆さま方に見ていただきたい、知っていただきたいと強く願っています。

令和 4(2022)年は、創立 70 周年の記念の年です。皆さまをお迎えできることを職員一同、心より楽しみにしています。

【熊本博物館ロゴマーク：左図】



熊本博物館の特徴的な屋根の形状をモチーフとして、「未来へ引き継がれていく遺産としての外観」を活かし、3つのラインを用いてシンプルかつリズムカルに表現。

隙間を空けることで軽やかさを出すとともに、利用者にとって開かれた施設であることを連想させるもの。